

研 究 室 紀 要

第 42 号

東京大学大学院教育学研究科 基礎教育学研究室

2016年 7 月

目 次

《特別企画》

記憶のケア・脱中心化・脱集計化

——ある倫理学研究者のスローな足どり——……………川本 隆史（ 1 ）

文化学原論・生命環境倫理学・西洋教育史

——ゼミ35年間の歩み……………川本 隆史（ 11 ）

ジョン・ロールズのコミュニティ構想における人びとの関係

——卒業論文と「政治的リベラリズム」との対質——……………中西 亮太（ 19 ）

教育問題としての子どもの貧困と尊厳……………柳橋 晃（ 27 ）

《特別寄稿》

青年期の発達と教育課題……………堀尾 輝久（ 35 ）

生と死の＜弁証法＞と＜内在的終末論＞への願望

——自然主義と歴史哲学の接合可能性を模索しつつN.O.ブラウン『エロスとタナトス』を
再読する——……………宮澤 康人（ 45 ）

1980年代：史哲研究室と＜過去の消化＞

——（ 3 ）ミシェル・フーコー再読——……………吉澤 昇（ 57 ）

《研究論文Ⅰ》

隠喩とイロニー

——交感する心情に依る超越性——……………田中 智志（ 69 ）

《研究論文Ⅱ》

ルソーの教育思想と実践との関連及び「隠された」政治性の探求

——『エミール』と植物教育の手紙を軸に——……………荒井 宏祐（ 89 ）

デュイイ宗教論における「理想」概念の検討

——適応の切れ目へのまなざし——……………梶川 萌（ 101 ）

近代教育批判の根拠

——田中智志の教育思想をめぐって——……………木下 慎（ 113 ）

1930年代の中学校における音楽部の活動

——兵庫県立第一神戸中学校における喇叭の導入に着目して——……………古仲 素子（ 125 ）

1964年東京オリンピックをめぐる道徳教育の課題とその論理

——国民的教育運動における公衆道徳と「日本人の美徳」——……………小林 正泰（ 135 ）

天・地・人の技法

——反問からみる生の安定——……………高野 暁子（ 147 ）

政治において当事者とは誰か？

——アレント、ムフ、ランシエール——……………田中 智輝（ 159 ）

カントにおける「素質」概念と「超越性」……………土屋 創（ 171 ）

カール・シュミットと「プラクシスの原理」

——「教育のプラクシス」に向けて——……………古川 亮一（ 181 ）

ナチ時代における公共図書館の使命の一側面

——ヴィルヘルム・シュスターの公共図書館論に着目して——松井 健人 (193)

J. バトラーにおける「政治教育」山口 恭平 (205)

「森のようちえん」をめぐるポリティーク

——「信州型自然保育」検討委員会の議事録分析を通して——山口 美和 (215)

《研究ノート》

高校水産教育に記された水俣病に関するひとつの誤謬

——有機水銀説を記した高校職業科用教科書からの検証——中野 浩 (227)

「生き延びてきた」戦争の記憶を継承する

——「生のあやうさ」に根ざす平和教育の再構築に向けて——吉田 直子 (239)

《書評》

宮澤康人『＜教育関係＞の歴史人類学—タテ・ヨコ・ナナメの世代間文化の変容』

.....桑嶋晋平・江口怜・鈴木康弘 (249)

《ゼミ動向》 (253)

[大学院] 総合演習／金森ゼミ／川本ゼミ／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／
片山ゼミ／木村ゼミ

[学部] 基礎教育学方法論演習Ⅰ／基礎教育学方法論演習Ⅱ／教育人間学演習／
教育臨床学演習／価値と教育／生・権力論と教育／レヴィナス哲学研究

《研究会動向》

大人と子供の関係史研究会 (283)

《学位論文一覧》 (287)

* 研究論文Ⅱおよび研究ノートは査読付き。